

# 一般質問

9月定例会



瀧尻 行雄 議員

平成29年

## 9月定例会終わる

9月5日から15日までの11日間で開催

監査委員による平成28年度決算報告があった。平成18年度決算で26・9%だった実質公債費比率は9・8%となり、合併当時は危機的状態といわれていたが、繰り上げ償還などの財政努力によって著しく改善された。

未収金はやや減少したものの5200万円余、指定管理による観光施設は11施設、管理料が1億2900万円あり、改善を求める意見が付されている。

デマンド型乗合タクシーの運行に、志々及び赤名地区が加えられ、これで全町に波及することになった。さらに定期券が新設され、利便性の向上が図られた。

社会資本総合整備交付金により、町道の整備や橋の補修、通学路の改良、公営住宅の整備等をおこなっているが、今年度の国からの交付率は要求額の58%となっており、大幅な計画の変更が必要となっている。特に、住民の生活に密着した生活道路への交付率は35%と極めて低く影響が心配される。

また、住宅整備事業の交付率は50%となっており、今年度中の完成は不可能な状況となった。

### 可決された主な議案

#### 条例関係

飯南町地域の振興を促進するための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定など3件

#### 補正予算

平成29年度飯南町一般会計補正予算(第3号)など8件

#### 諸議案

平成29年度中央監視装置設備工事請負契約の締結など3件

### 提出されたその他の案件

#### 認定

平成28年度飯南町各会計歳入歳出決算認定

#### 報告

健全化判断比率及び資金不足比率の報告

#### 陳情

中井谷ため池の改修及び早期着手の要望について(陳情)

#### 〔陳情者〕

- 飯南町花栗72番地2
- とんぼら門宮農組合 代表理事 難波 明石
- 中井谷ため池受益者 代表 熊谷 利夫

#### 〔審査委員会〕

教育経済常任委員会

#### 〔審査結果〕

継続審査

### Q 福祉施設の

#### 存続は

本町は、福祉、医療に精力的に取り組んできた。

しかし、福祉施設の維持管理が困難となりつつある。将来を考えると、施設の老朽化対策や機能の更新など長期的視点が必要だ。介護職員の不足も深刻な影を落としている。

この問題を解決するため、行政が改革の第一歩を踏み出す時が来ていると思うが、町長の考えを問う。



町内の福祉施設

### A 福祉施設協議会と

#### 協議

町長 山崎 英樹

本町では早くから民間の力で福祉に対応いただいている。

近年では小規模多機能型居宅介護というサービスも加わっており、他市町に比べ恵まれている。このような中、施設入所を必要とされる高齢者は増加している。

従事者の不足によるサービスの縮小をせざるを得ない施設があることは承知している。人材確保のための各種制度に加え、本年飯南町人材確保センターを設置した。

今後、飯南町福祉施設協議会と施設の老朽化や人材確保対策を協議する。

### Q 高齢化が進む本町の

#### 農業・農地の行方は

農水省は、予算要求を増大させ競争力強化プログラムに基づき、構造改革を進めようとしている。

本町として、農地の大区画化、農業公社設置など、強い農業、農村整備を確実にする時期が来ていると思うが、町長の考えは。



オペレーター不足に悩む農業

### A 営農体系を充実

町長 山崎 英樹

平成30年度に廃止が決まっている米の直接支払い交付金の財源がどう活用されるのか注目している。

本町の農業戦略として、指摘の内容に賛同する。

本年7月には飯南町農業支援センターを立ち上げ、組織作りを進めている。その流れの中で、若者が年間を通して活動できる、核となる新たな組織が生まれることを望んでいる。

農地については、集約、管理しやすい環境整備を進める考えだ。また、1年間を通しての生産など、営農体系を充実させ、持続、発展する農村の形成に努力したい。

【平成29年度 一般会計補正予算 9028万円減額】  
社会資本整備交付金の減額、障がい者福祉費臨時管理費・琴引スキ一場外臨時管理費の増額など

各会計	補正予算額	予算総額
一般会計	-9028万円	74億3837万円
特別会計	国民健康保険事業	7億1279万円
	後期高齢者医療事業	1億8286万円
	病院事業	13億4240万円
	介護保険サービス事業	3399万円